

# 厚生労働大臣賞 (1 件)



**厚生労働大臣賞**  
「事業所・地方公共団体等」分野

受賞者名

**Meiji Seika ファルマ株式会社岐阜工場**

所在地

**岐阜県本巣郡**

受賞テーマ

**3 Rの継続推進によるゼロエMISSIONの達成**

同社は、環境方針に「商品の設計から廃棄に至るライフサイクル全般及びあらゆる事業活動において、生産性の向上、省資源、省エネルギーを推進し、環境負荷低減を図ります。」を掲げ、環境負荷低減に取り組んでいる。

また、同社岐阜工場は、環境行動計画で「2011年度に最終埋立処分率1%以下、リサイクル率99%以上でのゼロエMISSIONの達成」を目標として、3Rを継続推進し、1年前倒しで、2010年度に最終埋立処分率0%、リサイクル率100%で目標を達成し、2011年度も継続している。

岐阜工場の廃棄物の特徴は発酵工程があることから、水処理より発生する余剰汚泥が工場廃棄物発生量の90%を占め、汚泥の脱水・乾燥による排出量の抑制とリサイクル率の向上が課題であった。

汚泥の脱水・乾燥については、運転条件等の技術的検討・実施、運転管理の徹底で脱水・乾燥率を改善した。

また、発生する廃溶剤、廃材等の再利用、原材料容器の再使用等をあらたにリサイクル・リユースの取組、未リサイクル品目のリサイクル検討・処理業者へのアプローチを実施し、排出廃棄物の100%リサイクルを達成し、ゼロエMISSION達成へと繋げた。

### 【3Rの主な取組】

#### 1) リデュース

- ・技術検討・改良により製法変更を行い、有機溶剤の使用量、排出量の抑制
- ・汚泥の脱水・乾燥率改善による排出汚泥量の抑制

#### 2) リユース

- ・原材料の移送容器を通いとし再使用

#### 3) リサイクル

- ・廃溶剤を自工場廃溶剤燃焼ボイラーの燃料としての再利用 ・木くずを破砕処理してボイラー燃料化
- ・木くずを堆肥・飼料化 ・撤去基礎・防油堤コンクリートを破砕処理して工場敷地の敷石に再利用
- ・汚泥を堆肥・飼料化 ・汚泥をセメント原料化 ・紙くずを再生紙化 ・金属屑を再生して金属化
- ・ガラスくずを溶解し粗鋼鉄・路盤材化 ・プラスチックをRPF固形燃料としてボイラー燃料化

廃棄物排出量・最終処分量推移グラフ

